

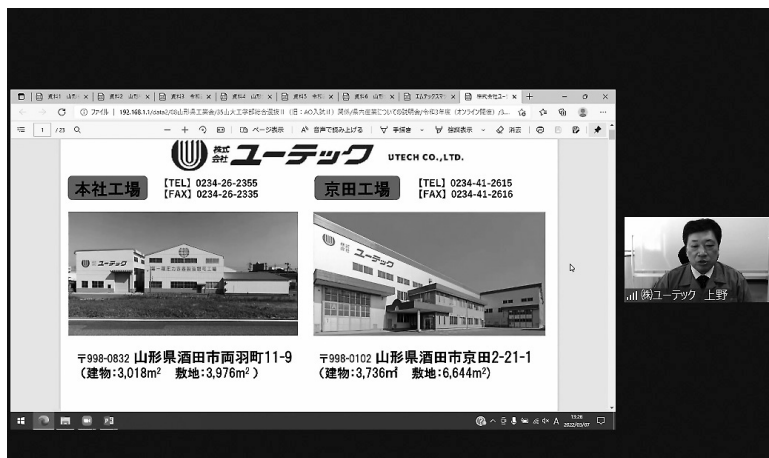
山形県工業会 山形県の産業についての説明会を開催しました

3月7日(月)、山形県工業会は、山形大学工学部令和4年度総合型選抜Ⅱ入学生を対象に、入学生が在籍する高校の教員を交えてオンラインによる標記説明会を開催しました。

山形県工業会では、同選抜制度を今後の山形のものづくりを支えていく人材を育成するものと認識し、入学生への様々な支援の一環として、将来就職し生活していくであろう山形県についてより理解を深めていただくため、県内産業の現状等についての標記説明会を毎年開催しております。

産業の現状等として、山形県工業会の松村英一会長(エムテックスマツムラ株式会社)、上野光徳副会長(株式会社ユーテック)、北野英男置賜副支部長(フジクラ電装株式会社)から、自社やそれぞれの業界の説明があり、学生へ期待すること等について述べられました。

次に、山形大学工学部の中島健介学部長から、総合型選抜の趣旨と入学生への支援について説明がありました。最後に、教員及び入学生から、地元企業についての質問や入学に向けた抱負が述べられました。



山形県工業会と山形県商工関係各課長の懇談会を開催しました



3月18日(金)、山形県工業会は、オンラインで山形県商工関係各課長との懇談会を開催しました。

この懇談会は、山形県工業会が県との連携を深め、本県の製造業振興を推進することを目的に開催しているものです。

まず山形県商工関係各課より、令和4年度の重点事業について説明がありました。次に、「産業界の現状と課題」「DXの推進・脱炭素社会実現に向けた企業活動等、アフターコロナを見据えた現在または今後の事業の取り組み(新事業展開、

事業再構築等)」「県産業労働部への要望等」をテーマに、山形県工業会役員より自社や業界の現状について説明しました。その後、意見交換が行われ、「人材の確保が課題」「高校生の就職に関する制度の見直しが必要である」といった意見が出されました。